

### 3 健やかな体を育む教育の推進

明るく豊かで活力のある生活を営む態度の育成を目指し、生涯にわたる豊かなスポーツライフ及び健康の保持増進の基礎を培う学校体育・学校健康教育を推進する。

#### 学校体育の充実

努力事項	具現化のための取組
1 学校教育活動全体を通じた体育・スポーツ活動の充実と体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力アップ推進プランの改善・充実（RPDCAサイクルの確立）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の実態を踏まえた1校1プランの実践</li> <li>・業間、昼休み、放課後及び家庭等における主体的な運動習慣の確立                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※「いばキラキラダンス」の活用</li> </ul> </li> <li>・児童生徒の実態に応じた魅力ある体育的行事の工夫</li> <li>・家庭、地域との連携・協力（体力づくり推進委員会の設置）</li> </ul> </li> </ul>
2 体育・スポーツ活動における安全指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康・安全に関する自己管理能力を育てる指導の徹底</li> <li>○ 施設・用具の適切な使用及び管理と安全点検の徹底</li> <li>○ 健康観察の徹底と事故発生時の適切かつ迅速な対応</li> </ul>
3 適切な運動部活動の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茨城県部活動の運営方針の遵守               <ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間に合理的でかつ効率的・効果的な部活動指導、運営方法等の工夫</li> <li>・適切な休養日等の設定</li> <li>・地域のスポーツ人材と連携・協働及び部活動指導員を配置した指導体制の整備</li> </ul> </li> </ul>

#### 学校健康教育の充実

努力事項	具現化のための取組
1 健康の保持増進のための実践力の育成を図る学校保健の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の実態や発達段階に応じた計画的な保健教育の実践               <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招いた喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室及び性に関する講演会等の開催</li> <li>・がん教育の充実                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※「がん教育プログラム」補助教材・映像教材（文部科学省）の活用</li> <li>※「知っていますか？がんのこと」（茨城県教育委員会）の活用</li> </ul> </li> <li>・各種資料を活用した保健教育の充実                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※「保健教育実践事例集」、「性に関する指導の手引き」、「『生きる力』を育む保健教育の手引き」の活用</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
2 自他の生命尊重を基盤とした安全能力の育成を図るための学校安全の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健教育を推進するための学校保健委員会の活性化</li> <li>○ 児童生徒の実態や発達段階に応じた計画的な安全教育の実践               <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険予測・回避能力向上のための指導の工夫</li> <li>・実践的・体験的な交通安全教室の開催</li> <li>・防犯教室及び不審者を想定した訓練の実施</li> <li>・地域の災害リスクに応じた体験的な防災教育の実施</li> <li>・地域と連携した避難訓練の実施と学校防災連絡会議の充実</li> </ul> </li> <li>○ AEDを含む心肺蘇生法に関する教育の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員による発達段階に応じた指導の工夫</li> <li>・外部講師を活用した専門性の習得</li> </ul> </li> </ul>
3 望ましい食習慣の形成と食の自己管理能力を育む学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食に関する指導体制の確立               <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭等の専門性を生かした指導体制の確立</li> <li>・食育を推進するための校内推進委員会（学校保健委員会）の活性化</li> </ul> </li> <li>○ 学校教育活動全体で行う「食に関する指導」の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食に関する指導」の全体計画の評価・改善</li> <li>・食に関する専門家（栄養教諭等）を活用した授業の実施</li> <li>・朝食摂取の推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※食に関する指導の手引—第二次改訂版（平成31年3月 文部科学省）の活用</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 豊かな心を育てる給食の時間の工夫（小学校50分、中学校45分）</li> <li>○ 食育の日（毎月19日）、食育月間（6月）、地産地消強化月間（11月）の活用</li> </ul>